

開校記念日について

鳥取県立日野高等学校

日野高等学校は、平成12年4月に日野産業高等学校と根雨高等学校が統合して誕生しました。当初は一年次生全員と農業系列選択者が黒坂校舎、その他の系列が根雨校舎を使用していましたが、平成16年4月から根雨校舎を中心として校舎を一本化し、今日に至っています。

さかのぼってみると、80有余年に渡る日野産業高等学校と根雨高等学校の長い歴史の中では、昭和24年4月にも両校を統合し、「鳥取県立日野高等学校」と改称した時期がありました。しかし、昭和28年4月には再編成により、また2校に分離し、平成12年4月に再び統合したという経緯があります。前身の2校の開校記念日が共に4月21日であり、その深いつながりを考えて4月21日を本校の開校記念日としました。

日野高等学校は地域の教育拠点、地域と共に歩む学校であるため、地域の方々が本校に寄せられる期待や要望はあらゆる面で大きいものがあります。

明後日の開校記念日を、生徒一人ひとりが日野郡内唯一の高等学校の生徒としての自覚を持ち、未来に羽ばたくために学力の向上や豊かな人間性を育み、社会の持続的発展に貢献できる人材となることをめざして努力していく決意を新たにす日としましょう。

令和6年4月19日



日野高校 マスコットキャラクター『オッシー・ドリー』

このマスコットキャラクターは、平成14年度にALTのデイビッド・ハリス先生によって日野高校のシンボルとして描かれたものです。その後、SE(システムエンジニア)の三澤功補さんが雌(右)を描かれました。『オッシー(左)・ドリー(右)』の愛称は、平成24年度に全校生徒に公募し、名付けられました。